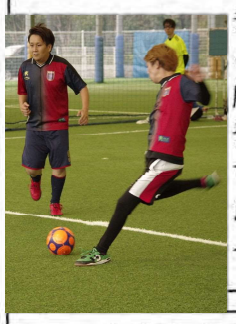
青年部通信

こども理容室 in「安芸安芸まつり」

１１月１８日（日）東区にある生協広島コープ温品にて開催された「第９回 安芸安芸まつり」に、こども理容室と称した理容体験ブースを出展してきました。天気に恵まれ、地域の小祭りとは言え結構な盛況ぶりで、老若男女問わず大勢の人が訪れていました。そんな中我が青年部は、カットコーナー・シェービングコーナー・セットコーナーを展開し、体験してくれた子供達に記念品を贈呈しました。カットコーナーではシザーの持ち方をレクチャーした後、ウィッグの髪をカットしてもらいました。夢中になってザクザクと切り進め、毛だらけになっていました。シェービングコーナーでは国家試験用のウィッグをラザーリングし、刃を抜いた剃りで泡を刮げ取る体験をしてもらいました。ヒゲの生えたウィッグの顔を恐る恐る泡立てて、レザーで落としていました。セットコーナーは子供達の髪をスタイリングし、カッコカワイく仕上げてあげました。普段とは違うスタイリングした髪型に男の子は得意げに、女の子は照れながら笑っていました。イベントを全くゼロから準備するよりも、ブースを間貸ししてもらう手法であれば開催も容易だと感じました。規模が小さくなるのは否めませんけどね。

１１月１２日（月）恒例のフットサル大会を開催、絶好のフットサル日和の中豪華景品を求めて(？)宇品のPivoxに集結しました。今回は参加費負担を下げる試みで、審判は参加チームから選出し、全て自分たちで作る大会として開催しました。また色々意見を聞かせて頂けると今後の運営の参考にさせて頂きます。今大会は「TIPSY MINAMI」「PICK UP WEST」「イカサマイレブン」「チームKAZU」と混成チーム「GOD」の５チームによる総当たり戦で、勝点３引分１を足して順位を決め「TIPSY MINAMI」が3勝1分けで勝点１０を挙げ優勝しました。２位は混成チームながら勝点７を挙げた「GOD」３位は勝点６で「イカサマイレブン」４位は勝点４で「チームKAZU」「PICK UP WEST」は勝点を挙げられず５位という結果になりました。今回も皆さんのフェアプレーにより怪我なく大会を終える事ができました。感謝に堪えません。大会のプレー写真を「広島県理容組合青年部」Facebookにアップしております。イイねしてくださいね。



シリーズ（？）災害に備える。西日本豪雨災害

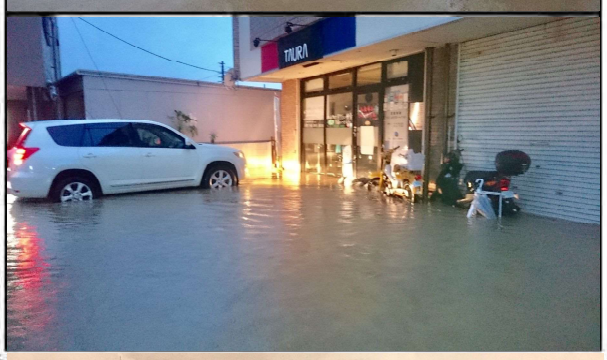
台風が通り過ぎてからも降り続いた雨により河川は氾濫し、谷間を土石流が襲い、土砂災害危険箇所全国一の広島県内は広範囲にわたり被害を受けました。その中で太田川に流れ込む一級河川 矢口川の氾濫の被害に遭われたヘアーサロンタウラにおける被災から復旧までの経緯です。

７月６日夕方地域を流れる矢口川が氾濫し、太田川との合流地点に有するポンプ場は土石流により稼働不能に陥り、2時間後には道路が水没、程なく店舗にも泥水が押し寄せました。理容椅子を上まで上げ、床にある物を上げて防水処置をしていたところ勝手口からも浸水してきたので、これ以上留まるのは危険と判断し、地面の見えない泥水の中を避難しました。仕事道具も持って出ようかと考えましたが、地面が見えない中で転倒し汚損する危険があり、持ち出す事は賢明ではないと思い置いて出ました。実際この様な状況でマンホールの蓋が水圧で外れ、見えずに落ちてしまうといった被害もあるそうです。翌朝水位が下がったので店舗に向かうと、地域一帯は泥で茶色く塗り潰されており、店舗内も水災基準の４５cmを越え同様に泥で覆われていましたが、上限まで上げた理容椅子の基盤には達しておらず、しっかり水洗し乾燥させ復旧できました。（※基盤が浸かると修理費用も跳ね上がるそうです。）幸いにも断水・停電にはならなかったので、すぐに復旧作業に取り掛かれました。エアコン室外機・屋外ボイラーも泥水に浸かりましたが基盤には達しておらず、室外機は水洗し、ボイラーはメンテナンスに来てもらい、割と早く使えるようになり復旧作業も助かりました。入れ替わり立ち替わりお客様や友人・同業者が助けに来てくださり、とにかく運び出し・掻き出し・洗い流し・ゴミを纏める工程を朝から夜まで繰り返し、見た目にはキレイにする事が出来ました。しかし泥水は見えない場所にまで侵入し、壁の中・理容椅子下の空間と、清掃出来ない場所にまで入り込んで異臭を放って来たので行政に相談しましたが支援は得られず、自力で探した消毒業者に来てもらい、壁や床に穴を開け消毒薬を注入するなどの処置を行なってもらいましたが、完全にキレイになったとは言えず、店舗の老朽化もあって年末くらいに移転する事を決めました。※行政から罹災証明書を発行してもらう事で、銀行から貸出金利を安く借りれるそうですが、移転に関しては低金利の貸し出しは認めてもらえませんでした。エステ機水没し全損したので、タカラペルモントの被災割引きで再購入しました。大量に発生した被災ゴミの扱いの関して行政は「事業所から排出されたゴミは事業ゴミだ」との判断を受け、臨時集積場には持って行けず自費で処分しました。行政からは２ヶ月後にお見舞い金が配られました。

火災保険の水災見舞は、４５cmの水没で店舗評価額の５％が支払れますが、復旧に掛かった費用だけ見てもとても間に合いません。この度の水害にあって勉強になったのが災害保険です。組合の火災共済からは、水害見舞金の補償がありましたが今後の備えを考え、組合のワイドプランの加入を検討していました。しかし私個人で加入している火災保険が同一の保険会社であったため、重複加入契約と言う事で保険も火災共済も自社で契約できる範囲以上の共済金（保険金）は支払われないことや自社内のルールの中で相手の分と併せて保障額が付帯しているなら按分するとの対応になるようです。皆さんも、現在の加入している保険や新たに加入しようとする保険についても、この点についてしっかりと確認してください。今回の経験を元に火災保険に付帯している水害見舞いだけでは不安なので、改めて水害保険にも加入しました。コストは嵩みますが、１cmの浸水でも保険が降りるのは心強いです。

１週間ほどで営業再開辿り着きましたが、泥との格闘で心身共に疲弊ていたようで、２日ほど働くと発熱と発疹でダウンしてしまいました。最終的に当月の収益は休業した１週間分ほど下がりましたが、ユーザーの皆様が再開を心待ちににして下さり、復旧にも力を貸して下さった事に助けられました。

地域の学校等に開設された避難所から、シャンプー・トリートメントが不足しているとの情報があったので支部で配布用の試供品を集め、ボランティアセンターに持ち込むと大変喜ばれました。今後はメーカーと協力した支援活動に繋げて行ければ良いかもしれません。タオルなどは一般の方々からも支援物資として送られて来る様で、日が経つにつれて供給過多になる傾向にあるようですが、避難者の有無・被災地の状況でも時事刻々と変化していくようなので、被災地域のボランティアセンターからの発信に気を巡らせておくのが良いかもしれません。



中国新聞

停止原因 誤作動と土砂

広島・安佐北区の排水機場ポンプ

西日本豪雨時、広島市安佐北区口田地区の矢口川排水機場の新設ポンプ一台が正常に動かなかった問題で、ポンプに初期不具合とみられる誤作動が起きたと、内部に土砂が入り込んで故障したことが判明。関係者の取材で分かった。管理する国は、正常に稼働すれば排水機場そばの矢口川の水位を0・2メートル程度下げることができたと推計する一方、想定を上回る雨量のため地区の浸水害は避けられなかったとみている。（田邊哲和）

きょう住民説明 補償求める声

国土交通省太田川河川事務所は31日、同区で住民説明会を開く。一帯では約8・6ヘクタールが水に浸かり、1000軒余りが浸水被害を受けた。住民からは再発防止や補償を求める声もあがっている。同事務所は「排水能力の低下と浸水との因果関係を含め、説明会で明らかにする」としている。

正常に動かなくなったのは、3月に新設した2台のポンプ。

（第三種郵便物認可）

矢口川排水機場のポンプがある建屋（奥左）と、ごみを取り除いて水を取り込む設備（手前右）。その間の線路はＪＲ芸備線（広島市安佐北区口田）